



令和2年度第4回広島市教科用図書採択審議会会議録

署名者 長谷川 洋 

会議録調整者 佐々木 沙智 

令和2年7月21日午後1時00分 令和2年度第4回教科用図書採択審議会を広島市教育センター3階第13研修室において開催した。

1 開会及び閉会に関する事項

開会 午後1時00分

閉会 午後4時30分

2 出席委員

会 長 長谷川 洋

委 員 面崎 敬子

委 員 斎藤 謙介

委 員 西村 加奈子

委 員 水津 直樹

委 員 堀 未奈

委 員 中田 浩二

委 員 渡辺 智恵

副 会 長 角崎 真由美

委 員 望月 慶輔

委 員 小林 綾子

委 員 小田 啓史

委 員 今村 綾子

委 員 藤田 智行

委 員 三原 正弘

委 員 山田 浩之

3 事務局の出席者

松浦 泰博 指導第二課長

土居 達司 指導第二課長補佐

与座 淳 指導第二課指導主事

佐々木 沙智 指導第二課指導主事

吉本 剛 指導第二課指導主事

山中 晴詞 指導第二課指導主事

4 議事日程

(1) 教育長挨拶

(2) 採択審議会委員の紹介

(3) 会長、副会長選出

(4) 諮問

(5) 教科用図書採択制度及び本市の教科用図書採択についての説明

(6) 議事

- ・ 調査・研究の観点について

(7) 諸連絡

5 議事の概要

○ 事務局

開会に先立ちまして、一言申し上げます。現在、本採択審議会の皆様、17名全員のご出席をいただいておりますので、本採択審議会は成立することになります。

お配りしておりますお手元の資料を確認させていただきたいと思います。まず資料1、それから資料2、それと、審議時間の目安という表があるかと思います。また、前回もお伝えしましたとおり、資料については会の最後に回収をさせていただきますので、どうぞ御協力をお願いいたします。

それでは、令和2年度広島市教科用図書採択審議会を開催いたします。議事につきましては、会長、副会長に進めていただきたいと思います。長谷川会長、角崎副会長、よろしくお願ひいたします。

○ 会長

それでは、よろしくお願ひいたします。本日は、保健体育科、技術・家庭科（技術分野）、技術・家庭科（家庭分野）、英語科、道徳科の4教科5種目について審議をいただくことになっております。たくさんの教科書を審議することになりますが、限られた時間での審議が適正に進みますように、皆様御協力をよろしくお願ひいたします。

それでは、保健体育から1種目ごとに教科書の調査研究報告を調査員の代表からしていただきます。皆様には、前回と同様に、教科書を手にとって、資料2とあわせて報告をお聞きしたいと思います。それでは審議に入りたいと思います。保健体育の調査員の方に入ってください。

（保健体育の調査員代表者入室）

○ 会長

膨大な調査研究をしていただき、ありがとうございました。それでは、保健体育科の調査員代表の方から教科書の調査研究について、ご報告をお願いしたいと思います。

○ 調査員代表

（調査報告）

○ 会長

ありがとうございました。ただ今の報告について、何か御質問等ございますか。

（質問なし）

○ 会長

よろしいですかね。膨大な資料をありがとうございました。引き続き審議に入りますので、ご退席をお願いいたします。

（調査員代表者退出）

○ 会長

それでは、ただ今の報告を聞きまして、まずは皆様から御意見をいただきますが、いかがでしょうか。

○ 委員

はい。どの教科書も章立てが4つから6つくらいに変わっていますね。以前は、教えていた時に、発達段階を考えて、この内容は1年生で教えた方が良いのでは、と思うことがありました。この度は、教科書も、生活に生かすところまで学び方を示しています。一つ一つ、1時間での学習、今日の学習ということで、例えば、〇〇でしょうかという問いのような形で書いてあるところは、大修館書店の教科書が良いという印象を持ちました。あと、説明でもありましたが、観点1の①の体力向上というところでも示されているところで、いかに自主的に体力に関わっていくか、自分の課題を見て計画を立てて取り組ませるのか、ということを経験していくのであれば、大修館書店の自分が計画を立てるといった活動が仕組まれているのは魅力かなと思いました。災害のところでは、大修館書店よりは、他の教科書の方が、資料がきれいで良いかなと思いました。また、東京書籍のデジタルコンテンツ50件というのは魅力かなと思いました。

○ 会長

はい。ありがとうございました。それでは続いて、色々御意見いただきたいと思います。それでは、その他、いかがでしょうか。

○ 委員

はい。どの教科書も非常によくできていて、綺麗で、わかりやすく作ってあると思います。その中で、大修館書店と学研教育みらいの教科書が、最初に課題を掴む、それから内容を学んで、そしてそれをまとめるということになっていて、非常にわかりやすいように思いました。その中でも、特に、大修館書店の方が、まとめが詳しいなどの工夫があり、自分で振り返ることができるというような工夫もなされているというのがありますし、どの者も綺麗なんですけど、大修館書店が特にイラストとか、先ほどの委員もおっしゃいましたけれども、効果的でわかりやすいように思いました。学研教育みらいの方も色々良いところがあって、もっと広げる、深めるという項目を強調されていましたが、他の教科書にはない、かなり突っ込んだ内容という面なのは非常に良いかなと思いました。

○ 会長

ありがとうございました。では、その他、いかがでしょうか。

○ 委員

はい。本市の課題のところでも大きく分けたら3つあったと思うのですが、災害にしっかり備えていくこと、生徒が習得した知識、技能をいかに自分自身の実践にしていけるかということ、それから、言語活動にいかにつなげていくかということですが、この3つの課題に一番対応しているのは、大修館書店かなという気がしました。災害のところも、他の教科書にはない小単元がありますし、それから、実践へつなげていくということが、先ほどおっしゃいましたように、体力向上に関しても、自分自身で計画を決めて、どのくらいまでやらなければいけないのか、やれば良いのかというような部分がわかりやすいという印象を持ちました。それから、振り返りということで、学んだ知識を振り返って自分の実践につなげていくという、そういうのもありましたし、よりふさわしいというのは、大修館書店が良いのかなと。あと、次にふさわしいとなるとちょっと難しく、学研教育みらいか東京書籍なのですが、そうですね、実践につなげていくという部分では、学研教育みらいのかなと思

ったりします。それから、言語活動ですね、この観点からいくと、学研教育みらいがよいかなど、そういう印象です。

○ 会長

はい。ありがとうございました。もう少し、審議の時間がございますので、その他、いかがでしょうか。

○ 委員

はい。学習の振り返りのところで、章のまとめがあるのが大修館書店と学研教育みらいということだったのですけれども、振り返りというところで見ると、学研教育みらいは、知識・技能を振り返っているということで、その章で学んだことをきちんと覚えているか、という振り返りになっているなと思います。大修館書店の方はですね、その章の内容というよりは、この章で自分がやってきたことを振り返るという、学習に興味関心を持ちましたか、とか、内容を理解できましたか、というところなので、振り返りの視点というのが2者で違っているのかなと思いました。個人的には、知識につきましては大修館書店の方も前半の方で知識の復習をしていますので、学習全体を通して振り返ることのできる大修館書店の方が良いのかなと思いました。また、この章のまとめ、今153ページを見ているのですが、知識・技能を確認した後に、思考・判断・表現の問題ということで、ここで重要性を説明し、何に気を付ければ良いのかというポイントを自分たちで考えて伝えとか、学びに向かって、という、新たに課題を見つけるというところで、一連の流れがこの章のまとめの中でもできている、というところが非常に良いと思っています。あと、学研教育みらいは、章のまとめの後ろに、1年2年は、「学習の終わりに」というところがあって、そこに、色々自分たちで書くことができるようになっていくところがあり、この辺も活用できれば良いかなと思いました。なので、学研教育みらいのポイントはそこなのかなと思いました。

○ 会長

はい。ありがとうございました。その他、いかがでしょうか。

○ 委員

はい。4者とも資料の作りとしてはとてもわかりやすいと思っていて、文字やキャラクターでいくと、東京書籍は、わかりやすい字体を使っているなという風に思いました。ただ、どの者も、作りだけだと甲乙つけがたいですね。では、どの部分で判断するのかとなったときに、本市の課題ですね。調査報告にありました、習得した知識や技能を活用して課題解決すること、この課題に一番対応しているのがどの者なのか、となったときに、観点2の④習得した知識や技能を活用して課題解決につなげるための工夫ですけれども、この部分で、どの者が一番工夫されているのかとなったときに、大修館書店が色々な工夫がみられるのかなと思いました。教科書全体で他に工夫がみられるとしたら、学研教育みらいが2番目に工夫が見受けられたかなと思いました。

○ 会長

はい。ありがとうございました。それでは、丁寧な報告と、本当に限られた時間の中で議論いただきましてありがとうございました。各者の特徴を調査研究し、報告していただいたものと、皆さんの意見を踏まえると、本市にとってよりふさわしいということで大修館書店、

それから、ふさわしいということで学研教育みらいの教科書ということで答申するという
ことでよろしいでしょうか。

(「異議なし」)

○ 会長

はい。付す意見は特になしということで、このようにしたいと思います。それでは、あり
がとうございました。これで審議を終わります。

それでは続いて、技術・家庭科の技術分野の審議に移らせていただきたいと思います。
(技術・家庭科(技術分野)の調査員代表者入室)

○ 会長

それでは、技術・家庭科、技術分野の調査報告をお願いします。調査員代表の方、よろし
くお願いいたします。

○ 調査員代表

(調査報告)

○ 会長

ありがとうございました。丁寧にそれぞれの特徴を調べていただいた報告だと思えますが、
ご報告いただいた内容について何か御質問等ありますでしょうか。

(質問なし)

○ 会長

それでは、調査報告ありがとうございました。この後審議を続けますので、ご退出をお願
いいたします。

(調査員代表者退出)

○ 会長

それでは、皆様から御意見をいただいて審議を続けたいと思います。報告を聞いていかが
でしょうか。

○ 委員

本市の課題に、問題解決学習について上がっています。そうした視点では、観点2の視点
③にある、開隆堂出版の「社会とのつながり」が明記され、生徒が解決策を構想するために
必要な情報が具体的に詳しく書いてあり、良いと感じました。また、ものづくり体験が少な
く、生活体験に大きな差がある生徒が、授業において協働的に作業を行うことを考えると、
安全面にも配慮することが大切だと思います。その点について、開隆堂出版や東京書籍は生
徒が意識するために工夫されていると感じました。

○ 会長

ありがとうございました。その他、いかがでしょうか。

○ 委員

はい。本市の生徒の実態として、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解することや、知的財産について理解すること、それらを理解した上で問題解決学習を行うことが課題として上がっています。これらの課題に対応するという視点で見ると、3者の教科書の中で、教育図書さんは残念ながら全てに十分に対応しているとは思えませんでした。東京書籍と開隆堂出版は、3つの課題にしっかり対応できると思います。特に、開隆堂出版は、技術分野の学習と社会との関わりを理解させる上で非常に工夫が見られています。例えば、生徒にもものづくりをさせる際に、ただ作るということではなく、問題解決を行っていく中で社会との関わりについて考えさせるための工夫がされていたり、倫理観について触れることができるコラムを掲載したりしているのは開隆堂出版だけだと思います。こうしたことから、よりふさわしい教科書が開隆堂出版、ふさわしい教科書が東京書籍じゃないかなという印象です。

○ 会長

ありがとうございました。その他、いかがでしょうか。

○ 委員

よろしいですか。私も、東京書籍と開隆堂出版、この2つが色々な工夫が見受けられると思いました。東京書籍と開隆堂出版は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」の視点④「学習過程の工夫」にあるとおり、学習したことを振り返って、そして自分で主体的に学ぶための工夫があるという印象を受けました。特に、開隆堂出版は、まとめの部分の振り返りがかなり充実をされていて、より具体的な事例を踏まえた振り返りができるようになっていると思いました。

また、全体的にどの教科書も非常に視覚的な工夫があり、図が多用されていてわかりやすいのですが、開隆堂出版の図や絵が大きく見やすくなっています。東京書籍は、全体的に少し図や絵が小さいのですが、そのスペースを利用して、とても詳細に記述がされていると思います。この点は、生徒によって評価が分かれる点かもしれません。技術分野は、特に教科書を見ながら色々な作業をしたいと思いますので、そのことを考えると、開隆堂出版が主体的に学ぶ上では優れていると思いました。

○ 会長

ありがとうございました。その他、いかがでしょうか。

○ 委員

はい。私も開隆堂出版と東京書籍のどちらかだと思います。これまでも出ているように、開隆堂出版が、具体例の名称でも、「安全性を重視した」とか「持ち運べる」とか、頭に何かつけることで目的をもったものを例示しており、単に作るということではなく、生徒それぞれが見いだした問題を解決するためのものを作るのだということを意識しやすくなっていると思います。また、細かい点ですが、教科書の右上に毎ページ何か工具が掲載されていて、生徒が楽しみながら覚えていくための面白い工夫であると思いました。

○ 会長

ありがとうございました。その他、いかがでしょうか。

○ 委員

はい。これまでも出ているとおり、3者を比較すると、本市の課題の解決に対応しているのは東京書籍と開隆堂出版であると思います。どちらも、課題解決の学び方の工夫が色々あり、中でも、開隆堂出版の実習例は、「安全性を重視したふみ台」など、身近な問題を発見するところからわかりやすく始まっています。そして、次のステップに「課題の設定」が書かれており、何が問題なのかを見つけるだけでなく、何を解決しなければいけないのかを考えることが大きく例示されています。これは課題解決を行う上でとても重要だと思いますので、その例示の仕方がとても工夫してあると思いました。実習例どれを見てもその例示があるので、生徒が問題解決を行う上で、しっかりと参考にできる教科書になっていると思いました。また、東京書籍も開隆堂出版も、学習の流れを分けて記載しており、今何を勉強しているのかという流れがわかりやすく、非常に学習しやすいのではないかと思います。最後に、知的財産と倫理観についてです。知的財産というのは著作権等を示すものだと思いますが、これらに対する意識は本人の資質や倫理観に大きく依存し、大人でもなかなか配慮が行き届かない部分だと思います。非常に難しいところですが、それを中学生が学習の中で意識するのは、非常に大事なことであると思いました。それが、特に開隆堂出版にはあるため、非常に良いと思いました。

○ 会長

ありがとうございました。それでは、調査・研究の報告や、皆様からいただいた御意見をまとめますと、開隆堂出版をよりふさわしい教科書、東京書籍をふさわしい教科書として答申するというところでよろしいでしょうか。

(賛同の頷き)

○ 会長

はい。付す意見もなしということで答申したいと思います。ありがとうございました。

それでは続いて、家庭分野の審議に入りたいと思いますので、家庭分野の調査代表の方をお呼びください。

(技術・家庭科(家庭分野)の調査員代表者入室)

○ 会長

はい。それでは、技術・家庭科、家庭分野の調査員代表の方から、調査研究の報告をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○ 調査員代表

(調査報告)

○ 会長

はい。ありがとうございました。大変丁寧に、また、詳細に調査研究いただいておりますが、ただいまの報告について、何か御質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、調査報告ありがとうございました。この後審議を続けますので、ご退出の方をお願いいたします。

(調査員代表者退出)

○ 会長

それでは、報告を受けまして、いかがでしょうか。

○ 委員

まず、報告してもらったハンバーグのところでも大きな違いがあったと思うのですが、学習する内容に対して、「なぜこうなるのか」という科学的根拠を求め、それを他のことにも応用していく力をつけていくことは、非常に大事なことだと思っています。その上で、開隆堂出版は、学習の流れに沿いながら、ポイントポイントを逃すことなく、「なぜ」を考えさせ、科学的根拠に結びつくよう示してあり、さらに他で学習した内容の学びを深めていく際に、次の課題に進めていくステップにもなるのではないかと感じています。また、「なぜこうなるのか」ということを深く知った上で経験をすることが、次の課題を見つけることにつながると思います。本市の生徒の「日常生活にあまり問題を感じていない」という課題の部分にもつながっていくように感じました。そういった意味では、開隆堂出版の方がその視点に沿って、作られているかなと思います。

QR コードの資料の示し方ですが、開隆堂出版は、ほとんどのページに QR コードがあり、その QR コードからそのページに関連した資料が検索できるので、他者のように1つの QR コードから目次に飛ぶよりも、さらに意味のある示し方だと感じました。

言語活動の部分で行くと、東京書籍に比べて開隆堂出版の方が、「考えてみよう」とか「話し合ってみよう」、「発表しよう」、「やってみよう」など、種類を分けて示してあり、「なぜ」に対する問いかけの、答えの結びつき方や、学び方が、課題に対応しているのではないかと感じました。

それから、防災、減災に関連したところでいうと、教育図書は物足りなさを少し感じるかなと思います。

家庭科で学習したことは、教科書で、学校でやって、終わりではなく、これからの生活につながってもらいたい教科なので、その部分が余すことなく掘り下げているのは、開隆堂出版が一番特化しているのかなという風に感じました。

また、どの教科書も、写真が非常にきれいですし、わかりやすく掲載されているのですが、家庭科や技術というのは、この教科書1冊持っておいたら、自分の人生の中で派生して役に立つものになると思います。そういう部分で考えたときにも、開隆堂出版の方が、広がりが見せられるのかなという風に感じます。

○ 会長

はい。ありがとうございます。今、委員が最後に言われたのは、教科書をいつまでも持っておくなら、ということですかね。

○ 委員

そうですね。基本となるというか、たくさん本に触れる機会がある子ども、そうでない子ども、色んな子どもを相手にしていく中で、一番ベースになるものである考えたときには、教科書はすごく大事なもののなのだと思います。

○ 会長

はい。ありがとうございました。では、その他いかがでしょうか。

○ 委員

私も「なぜ」というところで、一番わかりやすく出ているのが開隆堂出版だと思います。その裏で、どう振り返らせるかというところが工夫して作られているというところがあるのだと思います。

他にも、ビジュアルな点では、3者ともわかりやすいのですが、技術と同じように、開隆堂出版は、非常に絵が大きくて、わかりやすく、手元に置いて何かをするときにも非常に使いやすい教科書になっているという印象を受けました。一方で東京書籍もすごくきれいできているのですが、非常に詳細になっている分、絵や写真が少し小さくなって、少し見にくい印象を受けました。

○ 会長

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

○ 委員

よろしいですか。よりふさわしいのは開隆堂出版だと思いました。それから、次が東京書籍でしょう。東京書籍も、学習したことを3つの力からもう一度、自分の生活に実際に生かせるかという視点が見えていたとは思いました。個人的には、開隆堂出版の「振り返り」や、「生活に生かそう」というところで、スニーカーをどのように選ぶかというのがありました。自分たちの生活の中でも、色んな選択肢があつたら、どうやって選ぶかというように、生徒にとって、非常に身近な内容で、今後に生かせるような活動になっているのではないかなと思います。

それからもう一つ別の視点なのですが、生徒は、家庭と技術をセットで持つので、同じ出版社のものをセットで持つという方が、より生徒にとっても良いのかなと思います。先生にとっても使いやすいのかなと少し思いましたので、付け加えさせていただきます。

○ 会長

はい。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

○ 委員

やはり、「なぜ」という問いかけは、今後の生活にも役に立っていくと思います。自分が子どもに対して料理を何かさせるというときにも、開隆堂出版の「なぜ」という問いかけは使えるかなと思いました。非常に生活に密着していて、今後の生活で活用できることを記載されているということを改めて思いました。

他にも、生活に生かすという意味では、開隆堂出版の調理実習例で、肉料理、魚料理、野菜料理とあって、その後ろにあと1品作ってみようの中に、「副菜」、「汁もの」、「電子レンジを使って」が掲載されています。晩御飯を作るときに、1品足りないなというときに、そういう知識や知恵が、培われていけるのではないかと、非常に興味深いと思いました。あとは、皆さんと一緒にです。

○ 会長

はい。ありがとうございます。他にどうでしょうか。

○ 委員

もう他の方が言われたのですべて網羅されていると思うのですが、課題の中で、「実生活の中にある問題をあまり感じておらず」というのは、本当に問題だと思います。問題解決する前に、何が問題なのかがわかってないっていうことは、とても問題ですね。ただ単に、「こういうことに気を付けて」と肯定的に言われるのではなくて、「なぜ」と聞かれるのは、どういふ問題があるのかという発見にもつながります。そういう意味では、皆さんが言われているとおり、開隆堂出版がいいのではないかと思います。

○ 会長

はい。ありがとうございました。色々御意見いただきましたが、皆さんのこれまでの審議をまとめますと、本市の課題、あるいは生徒の実態等を見たときに、よりふさわしい教科書として開隆堂出版、それからふさわしい教科書として東京書籍、ということで答申するということでよいですか。

(「異議なし」)

○ 会長

付す意見はなし、ということで、よろしいでしょうか。

(賛同の頷き)

○ 会長

では、ここで、ちょっと続きましたので、5分程度休憩をさせていただいて、英語、道徳に入りたいと思います。よろしく願いいたします。

(外国語科(英語)の調査員代表者入室)

○ 会長

はい。それでは、再開いたします。外国語科、英語の調査員代表の方から、調査研究の報告をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○ 調査員代表

(調査報告)

○ 会長

はい。ありがとうございました。ただいまの報告の内容で、何か御質問等ございますか。

○ 委員

資料の21ページの本市の実態や生徒の状況について、課題の部分で、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」については言及されていますが、スピーキングについては言及されていません。おそらく、全国学力・学習状況調査で、スピーキングのテストの実施は難しいため、テストそのものが実施されていないのかとも思うのですが、そのために、スピーキングの能力について、ここでは言及されていないと理解してよろしいでしょうか。

○ 事務局

平成31年度の全国学力・学習状況調査で、「話すこと」の調査は実施されています。ただ、

結果としては参考値ですので、正式なデータとして公表はされておられません。そのため、ここでは言及をされていないということだと思います。

○ 委員

印象だけでいいのですが、本市の生徒の英語のスピーキング能力に関しては、そもそも高いものなのか、それともかなり課題があるものなのか、その辺りはいかがでしょう。

○ 会長

調査・研究のご報告ということですから、調査員代表の方の印象は、主観になってしまいますが。

○ 委員

はい。結構でございます。

○ 会長

その意味では、調査・研究とは少し話が違ってくるとは思いますが、まとめられた本市の実態や生徒の状況として、委員が言われたように、根拠となるデータがないということですね。そこについてはどうですか。

○ 調査代表

そこについては、主観が入ってしまいますので、言及は控えたいと思います。

○ 委員

わかりました。

○ 委員

すみません。あと2つお聞きしたいことがあります。SDGs との関連になるのですが、教育出版の3学年2、3ページに関連があると説明いただいたのですが、どのように関連しているのかが分からなかったので、改めて説明をお願いします。

○ 調査代表

目次ページのそれぞれの見出しの下に、「環境」など、SDGs と関連したものが示してあります。また、各単元のとびらに、関連のある写真が掲載されています。例えば、21ページを開いていただくと、写真でSDGs との関連が示されているという特徴がお分かりいただけたと思います。

○ 委員

はい。それから、最後の観点5の「言語活動の充実」というところで、教育出版の最後のマルの「言語活動を4つの領域について、コツを示すとともに扱っている」ということですが、コツというのが具体的にどういうものなのか、教科書の中に示されているところがあれば、教えていただきたいのですが。

○ 調査代表

はい。「Tips for Writing」や「Tips for Speaking」などのページあり、その中に「書く」や「話す」のコツが示されています。

○ 委員

わかりました。以上です。ありがとうございました。

○ 会長

ありがとうございました。その他はございませんか。
(質問なし)

○ 会長

それでは、審議を続けます。調査・研究の報告をありがとうございました。
(調査代表退室)

○ 会長

それでは、外国語科のことについてですが、いかがですか。

○ 委員

たくさんあるので、まとまっていないのですが、1回目の審議会で、「言語活動の充実」と「主体的に学習に取り組む工夫」を有機的に関連することが大切ということが出ました。主体的に学習していくためには、子ども達が見通しをもって、最後に自分たちがどのように成長したかが分かること、言語活動の設定が面白いことが大事であると思っています。報告を受けて、どの発行者もCAN-DOの形で示してあって、「～できる」と書いてある教科書もあれば、例えば東京書籍のNew Horizonは、一単元の中でたくさん文法を学習しても、1つのことが「できるようになる」と絞ってあります。開隆堂出版のSunshineだとゴールが3つ程度示されています。3つの文法や本文を学習した後に、自分ができるようになったことが1つにまとまっている方が、子どもたちにとって分かりやすく、すっきりしていて良いと、私は思いました。それが一つ目の感想です。そのため、東京書籍の観点1の①を見てみると、単元の構成が、子ども達が自分のやるべきことを見据えて、力を付けていくことに適していると思いました。また、自分の意見などを伝えることについても、観点2の視点④で、設定がいろいろありますが、東京書籍の「ホテルで苦情を言う」や、「雑誌の記事への意見を書く」など、実際起こりうる場面を明確に示されていて、本市の課題である「自分の考えや意見を書く力」をしっかり伸ばすことができるのではないかと思います。さらに、小中の接続というところで、どの発行者も小学校で学習したことについて扱ってはいますが、特に東京書籍では、「小」というマークが付いています。中学校の教員は、どれを小学校で習っているのかについて、よく分からない中で教えている状況がありますので、この「小」というマークが付いているのは、とても有効だと思いました。あとは、どの教科書でもSDGsやヒロシマに関する内容を扱われていますので、目指す「国際人」としてイメージに沿って、「ヒロシマの平和について発信できる子どもを育てる」という意味では、網羅されていると思いました。

○ 会長

ありがとうございました。続いて、いかがでしょうか。

○ 委員

正直に申し上げて、難しいですね。私の印象では、教育出版の One World は、観点 2 の「主体的に学習に取り組む工夫」で、知識や技能に対する目標、Think and Try、また、観点 4 の「内容の表現・表記」で、赤いカードが付いていて、即興的なスピーキングができる、即興的なやり取りの活動に繋がる工夫が見られました。観点 5 の「言語活動の充実」では、それぞれの教科書において、4 技能の組み合わせを様々に取り入れています。教育出版は、4 技能の組み合わせが多彩ですね。そのため、技能・領域を統合した言語活動については、他の教科書と比べると違う、意味のある活動になっていると思いました。また、最後の 4 技能それぞれの「コツ」が明確に示されているのも工夫されていると思いました。開隆堂出版の Sunshine は、観点 1 のターゲットセンテンスの示し方ですが、普通であれば、パッセージの後にターゲットのセンテンスがくるというパターンが多いのですが、マンガ形式の会話で導入するという手法を取っています。ここは、他の発行者のものとは違います。良いかどうかという評価は、それぞれの先生方が考えられると思いますが、1 つの特徴として挙げられると思います。また、同じく開隆堂出版の Sunshine で、観点 1 の①の一番下の「発音を口の形のイラストとともに示している」は、他の発行者にはないですね。おそらく生徒たちは、発音は先生を見ながら、それなりにしているとは思いますが、先生のいない場面で、どのような口の形で発音していたかについては、なかなか思い出すことができません。そのため、絵が描いてあると、自分で勉強する際に役立つのではないかと思います。その工夫が面白いと思いました。さらに、同じく開隆堂出版の観点 4 「内容の表現・表記」の⑦ですが、Retell という活動、再話活動と言われていましたが、自分の知識など、持っている能力を活用して創造していく、とても重要な活動ですので、特徴的ですし、良い活動だと思います。同じように、光村図書出版も、Retell という活動を設定しているのは特徴だと思います。私が気付いた特徴としては以上です。

○ 会長

限られた時間の中で、たくさんのご意見をありがとうございました。それでは、続いて、いかがですか。

○ 委員

難しいですね。教科書によって、性格が色々あるような気がします。東京書籍は、他の教科のものとは違って、独りで勉強するというよりは、授業の中で使いやすいような構成になっている様相があります。かなり詳細に書いてはありますが、このテキストだけではなかなか勉強が進まず、授業の中で、先生や他の生徒とのコミュニケーションの中で学ぶようなものになっていると思います。ただ、内容はとても充実しているので、アドバイスを貰いながら学ぶことができるので、高評価だと思います。一方で、教育出版は、とても緻密に作られていて、先程お話のあった「Tips」だけでなく、一つ一つが細かくまとめられていたり、巻末にある「Activities Plus」で、赤いマスキングシートを使って、自分で勉強をしたりするというような工夫がされています。生徒が、主体的に学ぶということも考えると、教育出版が優れていると思います。その他、三省堂は、とてもビジュアルで、関心を呼ぶように作ってあると思いました。他の発行者もそうだと思いますが、どのようにそれを考えるかで、変わってくると思います。私としては、生徒が主体的に学ぶという点では、教育出版に決まって、次に東京書籍だという印象を受けました。

- 会長
具体的にありがとうございました。それでは、続いて、いかがですか。
- 委員
外国語はとても難しいというのが、今の正直なところですよ。今、見ているところは、東京書籍の「Stage Activity」です。いくつかの単元のまとめりにあるのですが、その中で、ディベートであったり、即興でやり取りをしたりする活動があります。これは、教育出版の巻末にあるものと同じように、ペアやグループで活動するものだと思います。今は、そのような形でしか見ることができていません。すみません、どちらが良いのかということは、難しいですね。
- 会長
今の時点で、ということで大丈夫です。続いて、いかがでしょう。
- 委員
調査員代表の方に聞けば良かったのですが、書くことについて、「与えられた情報に基づいて正確に書くこと」、この正確に書くというのは、文法上の英語表現を正確にできないのか、そもそも言語としての表現なのか。また、「自分の考えや意見を書く」に課題があるというのは、英語表現のことなのか、そもそも自分の考えが書けないのか、分かりませんでした。先ほど、調査員代表の方に聞けば良かったのですが。
- 会長
調査員代表の方がまだ控えておられますので、聞かれますか。
- 委員
聞けるなら、聞いてみたいです。
- 会長
では、お願いします
(調査代表再入室)
- 会長
委員の方から質問をいただきました。よろしいですか。
- 委員
書くことについて、「与えられた情報に基づいて正確に書くこと」、「自分の考えや意見を書くこと」に課題があるとのことでしたが、この「与えられた情報に基づいて正確に書くこと」とは、英語表現、例えば文法等の正確さに課題があるという理解で良いでしょうか。
- 調査代表
はい。正確に書くことに課題があるということについては、文法事項等が十分に定着していないことが挙げられます。言語材料に関する知識・技能が不足しているということです。平成31年度の全国学力・学習状況調査では、特に、「三人称単数現在時制の英文を正しく書

くこと」に誤答が多くありました。

○ 委員

はい。分かりました。では、次の「自分の考えや意見を書くこと」に課題があるというのは、自分の考えを持っている、持っていないに関わらず、英語で表現することに課題があるということでしょうか。

○ 調査代表

そのとおりです。

○ 委員

分かりました。以上です。ありがとうございました。

○ 会長

よろしいでしょうか。調査員の方には、再度答えていただき、ありがとうございました。
(調査代表退室)

○ 会長

では、引き続きお願いします。

○ 委員

今伺った課題の対応を考えると、ライティングとスピーキングだと思いました。今、英語は家庭で格差があり、学習事情が全く違うと感じています。例えば、英語の本がたくさんある家があれば、全く無い家もあります。英語の本がある家は良いのですが、無い家を考えてときに、私が一番良いと思うのは、教育出版です。アウトプットをしようとする際に、基本はキーフレーズを習得することが、とても英語では大事だと思っています。そうすることで、英文法を身に付けることもできます。教育出版の「Activities Plus」は、何度か話に出てきましたが、フレーズを覚えていくことを繰り返すことで、アウトプットへ繋げていくことができるのではないかと思います。仮に、家に1冊しか英語の本が無いとするならば、私は教育出版の教科書が良いと思いました。他の観点での比較するのは、難しいですね。英語の教科書は、リーディングが中心になってしまうのですが、そういう観点でも教育出版が良いのではないかと思います。以上です。

○ 会長

ありがとうございました。審議の予定の時間が過ぎていますが、色々と意見が出てきています。いかがですが。

○ 委員

自分の意見があっても、なかなか英語で書くことができないということは明確になったので、書くことができない生徒に、書き方等を明確に示している教科書が必要なのではないかと感じています。その手順がしっかり記載してあるのは、開隆堂出版だという印象があります。客観的にみると、そのような感じですか。

○ 会長

御意見を伺う中で、意見が1つの方向性にまとまっている場合には、私の方から提案して、同意を求めることもあるのですが、様々な意見が出ている場合には、挙手によって決するということがあります。もう一度教科書を手に取って見ていただきます。その後、どのようにお諮りするかということについては、私の方から提案をするという形にしたいと思います。

そのような進め方でよろしいでしょうか。

(賛同の頷き)

○ 会長

それでは、もう少し時間を取ってみてください。

○ 会長

受け止めが違っていただければ言っていたきたいのですが、今まで出ている御意見からすると、よりふさわしい教科書は、教育出版だという声が多くあったように思います。ふさわしい教科書については、東京書籍と開隆堂出版という意見が出ていると思います。まず、よりふさわしい教科書として答申するのは、教育出版でよろしいでしょうか。

(「異議なし」)

○ 会長

はい。では、ふさわしい教科書として、東京書籍と開隆堂出版について、色々と御意見が出ていますので、こちらは挙手で決していくということよろしいですか。

(賛同の頷き)

○ 会長

はい。では、そのように決していきたいと思いますので、どちらかに挙手をしていただければと思います。その前に、確認をしておきますと、東京書籍は本市の課題に対応している状況があり、全学年での繰り返しに特徴があります。また、開隆堂出版については、本市の課題に対応している状況があり、特に観点5の表現に特徴があります。どちらも甲乙つけがたい状況です。それでは、どちらか決めていただきましたでしょうか。

たくさんの意見が出ましたが、調査・研究の報告結果を尊重することも大切ですし、ここでの議論を尊重することも大切だと思います。それでは、皆さんの挙手により、ふさわしい教科書として答申する教科書を決したいと思います。掲載順に申し上げます。東京書籍を、ふさわしい教科書だと答申した方が良いと思われる方は挙手をお願いします。

(委員10名挙手)

○ 会長

では、開隆堂出版を、ふさわしい教科書だと答申した方が良いと思われる方は挙手をお願いします。

(委員5名挙手)

○ 会長

それでは、このように結果が出ましたので、外国語科英語の審議につきましては、よりふさわしい教科書としては教育出版、ふさわしい教科書としては東京書籍を答申するというこ

とでよろしいですか。

(「異議なし」)

○ 会長

色々と意見が出ましたが、答申に付す意見としては、ここで決まりましたので、特になしということでもよろしいですか。

(賛同の頷き)

○ 会長

はい。それでは、長い時間になりましたが、外国語科英語の審議を終わりたいと思います。

○ 会長

それでは、続いて、道徳の審議に移りたいと思います。

(道徳の調査員代表者入室)

○ 会長

それでは、道徳の調査報告をいただきたいと思います。それでは、よろしくお願いします。

○ 調査員代表

(調査報告)

○ 会長

ありがとうございました。それでは、ご報告いただいた内容について、何か御質問等ありますでしょうか。

(質問なし)

○ 会長

それでは、調査報告ありがとうございました。審議を続けますので、ご退出をお願いします。

(調査員代表者退出)

○ 会長

それでは、御意見をいただきたいと思います。

○ 委員

本市の実態の、いじめの未然防止に向けた取組を推進しているということからも、いじめに関わる題材がどう扱われているかが鍵になると思います。どの教科書にもいじめに関わる教材が複数あり、コラム等により、+αの情報も得ることができ、課題との様々な向き合い方があるのもいいと思いました。

日本文教出版は、いじめの問題を扱った教材数が多いので、生徒の状況に応じて、どの教材を使おうかという選択肢も増え、幅が広がると思います。また、テーマが10必要かどうかは置いておいて、多くのテーマについて考えることができるのは、やはり幅が広がるのでいいと思いました。

「考え、議論する」道徳の授業を行っていく上で、東京書籍の心情円は実際に授業でも使えそうですし、面白そうだと思います。今は、コロナ感染症予防対策で、1つのホワイトボードを複数人で共用させることが難しいので、教科書の付録で、一人一人がホワイトボード等の道具を持つことができるのは便利だと思います。

○ 会長

その他にいかがでしょうか。

○ 委員

道徳で一番大切なことは、生徒が自分で考えて、自分の行動や将来のことなどを内省的に考えることだと思います。そう考えると、いじめの問題に限らず、道徳的な様々な課題に対して、体験的な学習等を取り入れながら、まず、一人一人に自分のことを考えさせて、皆で考え、再び自分について振り返るということが必要で、それを教科書等に直接書き込む形になっているものとしては、日本文教出版と東京書籍が挙げられると思います。日本文教出版は別冊という形をとっています。

しかし、前回、別冊の付いているものが全体的に多かったように思うのですが、今回は減っているようで、別冊は使いにくいという声が多かったのかもしれない。そういったところが、日本文教出版の気掛かりな点だと思います。

○ 会長

現行のもので、別冊を使ってみていかがですか。

○ 委員

そうですね。日本文教出版の教科書に掲載されている教材だけでなく、生徒の状況に応じて、道徳教育プログラムなど他の教材も使用しているので、ワークシートを作ることもあります。ですから、35時間全てでこの別冊を使用できているわけではないという状況です。

○ 会長

別冊にはメリットもデメリットもあるわけですね。ワークシートに空白部分があると、親からクレームがくる、というようなことがあると聞いたことがあるのですが、そのようなことがありますか。

○ 委員

聞いたことはないですね。

○ 委員

もしかしたらそういう人もいるかもしれないですが。

○ 会長

考え方で、それぞれということですかね。その他、いかがでしょうか。

○ 委員

日本文教出版は、いじめの問題を扱った題材がたくさんあって、それぞれの先生がたくさん

んのものから一番生徒の実態にふさわしいものを選べる良さがあると思います。別冊については、一つの題材に1ページとなっており、使い方によっては便利に使えらると思います。説明の最後に、空白のページが設けてあり、独自教材でも使えると言われていたのて、副教材のように読み物を多く収録している廣濟堂あかつきの別冊とは、性格の異なるものだと思います。

それぞれの教科書で、扱った内容についてクラスで話し合ってみましょう、とか、役割を演じてみましょうといった活動が設定されていますが、ただ話し合つて終わりではなく、最後に書かせて、各自が内省することが大事です。そのため、ワークシートが必要になりますから、内省という意味で、日本文教出版の別冊は役に立つと思ひました。

東京書籍の「話し合いの手引き」は、折り込みページを開くことで、どの教材の学習でも使いやすいというのが良いと思ひました。

○ 委員

生徒が当事者として、道徳的な課題に主体的に対処することのできる実効性ある力を育むというところから考えますと、日本文教出版の「プラットホーム」で、「いじめと向き合う」として、自分の考え方を見つめようであるとか、自分だったらどうかという立場に立たせてから考えさせるような教材が随所にあると感じました。

別冊の一番下には、○を書かせることで自分の思いを振り返ることができる欄があります。また、書かせるという点では、他の教科書でもメモをする枠はありますが、枠が小さく、日本文教出版の別冊のように、他の人の意見を大きく書くことはできませんから、日本文教出版が良いと思ひました。これがないと、先生が毎回プリントを作成しないといけないですし、別冊ノートがあれば良いと思ひました。

○ 委員

私も皆さんと同じ意見で、書くことは大事だと思ひます。生徒同士で話し合つて出た意見や、自分の頭の中で考えた意見を書くことによって、それらを整理することに役立つと思ひますので、日本文教出版が良いと思ひます。

○ 会長

今いただきました意見を総合しますと、よりふさわしい教科書としましては、日本文教出版、ふさわしい教科書としましては、東京書籍、として答申を作成することとし、追記する意見はなしということで良いでしょうか。

(「異議なし」)

○ 会長

それでは、皆さん、少し時間をオーバーしてしまいましたけれども、申し訳ございません。例によりまして、今日で3回目でございますが、本日の審議の結果をまとめまして、審議会規則に則つて、過半数で可決するというようになっております。皆さん、賛同いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○ 会長

はい。ありがとうございます。それでは全員賛成の挙手をいただいております。可決いた

しました。では、教育委員会から諮問されました教科書の調査研究につきましては、慎重に審議を行いました結果を、先ほど可決をいただきましたように答申したいと思います。以後、会長の責任におきまして、事務局との間で答申の事務手続きを行いたいと思いますが、一任していただけますでしょうか。

(賛同の頷き)

○ 会長

はい。ありがとうございます。それでは、これで本日の、そしてトータル4日間にわたっての審議を終了したいと思います。皆様のご協力によりまして、広島市の教科書採択について、公正かつ適正に審議し、教育委員会の方へ答申することができそうでございます。委員の皆様、本当にご協力ありがとうございました。

○ 事務局

皆様、長い時間ありがとうございました。最後に、指導第二課長より、挨拶させていただきます。

(課長挨拶)

○ 事務局

では、最後に、何点かご連絡させていただきます。

(事務局連絡)

○ 事務局

それでは、皆様には、4回も足を運んでいただき、そしてこのコロナという大変な中で会議をさせていただくという、大変にご負担をおかけしたところではございますけれども、本当によい審議をしていただき、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。どうぞお気をつけてお帰りください。

(全日程終了)